

10倍の死亡事例が起きてい
るが、安全性の評価につい
て所見を伺う。

保健医療担当部長 法に基
づく住民接種の実施主体を
担う基礎自治体が、国にお
いてそれぞれ薬事承認され
た新型コロナウイルスワク
チンとインフルエンザワク
チンの安全性について比較
評価することは困難だ。国
からの情報発信について、
適切に市民への周知につな
げる取り組みを進めたい。

議員 インフルエンザワク
チンに比べ、新型コロナウイルス
ワクチンは非常に危険だ。市民にこれからの継続して打ち続けることにつ
いては問題があると考え
る。所見を伺う。

市長 安全性については市
として検証する力はない。
現在、市民が一刻も早く打
ちたいという状況にあり、
緊急の対応が必要な時に地
元の自治体として市民の安
全安心のためにどのような
ことができるかということ
に責任を負っている。懸念
は理解するが、杏林大学医
学部付属病院と入念な協定
を結ぶなど、市民の安全安
心を追求して、市としてで
きる限りしっかりと対応し
ていきたい。

議員 厚生労働省の専門部
会等の報告によると5月7
日までの間に39人の死亡事
例が報告されており、なぜ
かというところを明らかに
していきたい。



いのちが大事
野村 羊子 議員

議員 子どもを取り巻く困
難に取り組み、子どもが主
体として生きていくことを
助ける、子どもオンブズパ
ーソンを設置すべきだ。

市長 他自治体の状況につ
いて情報収集などの調査を
行い、引き続き子どもの人
権を守り、子どもの最善の
利益が実現されるような仕
組みの中で検討したい。

議員 子どもの声を聞き調
査を行い、制度改正等をし
ていくことは重要だ。子ど
もオンブズパーソン設置
をどのように考えるのか。

市長 人権基本条例(仮称)
の制定の中で必要性をしっ
かりと議論していきたい。

議員 高校生世代から20代
あるいは30代までのユース
世代の声をまちづくり等に
取り入れることが重要だ。
ユース世代が集まり政策提
案できる場として、子ども
若者会議の設置を求める。

市長 現在準備を進めてい
る市民参加でまちづくり協
議会において、ワークショップ
等を開催して、アイデア
や意見を政策提案に反映
していきたい。

議員 子どもたち、または
ユース世代が自分たちだけ
で何かを成し遂げたと思え
る企画の検討を求める。

市長 今後、市民の意見を
尊重しながら設定したい。

議員 HPVワクチンの積
極的勧奨が取りやめになっ
たのは安全性に問題があっ
たからだ。製品として改善
され、副反応被害が出ない
ものとなったのか伺う。

保健医療担当部長 成分の
変更等はされていないと認
識している。

議員 昨年、厚生労働省が
HPVワクチンのリーフレ
ットを改訂し、本市は高校
1年生相当の女子に対して
郵送した。リーフレットは

副反応のリスクを十分に伝
えていないため送付の中止
またはリスク等の情報の同
封が必要だ。所見を伺う。

保健医療担当部長 送付の
際に、現在も積極的勧奨を
差し控えて個別勧奨を行っ
ていないこと等を明記した文
書を同封するなど注意喚起
も含めた対応をしている。

議員 ワクチンで副反応被
害が出ていることを市民へ
しっかりと伝えるべきでは
ないか。所見を伺う。

保健医療担当部長 接種は
当事者である本人や家族が
利益と不利益を認識した上
で決定してほしいというこ
とを伝えた上で、リーフレ
ットを活用していきたい。

議員 子宮頸がん検診の推
進のために、休日・夜間の
検診体制の整備と、若い世
代への情報提供が重要だ。
今後の検診体制及び情報提
供について伺う。

保健医療担当部長 市内医
療機関の幾つかは土曜日や
平日午後7時までの検診を
実施している。情報提供に
ついては、受診票の発送に
パンフレットを同封するな
ど、若年層にも情報が届く
ような勧奨を行っている。

議員 HPV検査を併用す
るなど、他自治体の事例の
研究と、検査を拡充するこ
とを求める。所見を伺う。

保健医療担当部長 国の補
助事業等の動向を見極め検
討したい。また検診の普及
啓発について様々な方法を
用いた拡充を検討したい。

議員 外環道工事における
地中拡幅部は断面積が大き
く地中深くでの工事のため
、周辺地域のボーリング
調査等を行い慎重に進める

べきだ。所見を伺う。

都市再生部長 陥没が起き
たことも踏まえ情報提供を
より一層行ってもらおう。よ
り良い施工方法への変更や
工事費が上がっても安全
になる方法にしようという
働きかけしていきたい。

議員 トンネル同士の離隔
距離について、陥没が起き
たことを踏まえて、もう一
度リスクの計算をしてもら
うべきだ。所見を伺う。

都市再生部長 離れている
距離も大事だが、接合する
部分について、本当に安全
性が確保できるのか求めて
いきたい。

議員 安全性が確認できな
ければ工事の再開はできな
いと市は考えているのか。

市長 そのとおりだ。



令和山桜会
池田 有也 議員

新しい時代に合った学校運営・
学園運営の推進を

議員 今年1月から1人1
人の学習用タブレット端末
の運用がスタートした。運
用に当たりセキュリティ
の強化は必須である反面、
強過ぎるとオンラインの利
点を生かし切れない。現段
階でのセキュリティ対策
と課題について伺う。

教育長 フィルタリング
ソフトの導入やアプリの一括
管理機能等により、適切に
対応している。動画の閲覧
制限等については、今後調
整が必要になると考える。

議員 学習用タブレット端
末は、様々な理由から学校
に通えない児童・生徒が授
業に参加する方法として

も、活用が期待される。所
見を伺う。

教育部長 オンライン会議
用アプリケーションを活用
した授業や、授業のプリン
トの配付をすることで、学
習の支援を行っている。

議員 学習用タブレット端
末によるオンラインでの授
業やテストの実施中に不測
の事態が生じた場合、再テ
ストや紙による対応を
行うなど、緊急時の対応に
ついて伺う。

教育部長 現在のところ学
習用タブレット端末でのテ
ストの実施はないが、予期
せぬ不具合等が生じるこ
とも考慮しながら効果的な活
用について研究していく。

議員 タブレット端末操作
の保護者向けサポートにつ
いて、マニュアルやヘルプ
デスク以外にも、タブレッ
ト端末を使った保護者向け
サポート講座の配信など支
援の拡充について伺う。

教育部長 タブレット端末
を活用したサポートの在り
方について、今後検討して
いく。

議員 昨年度、市立小・中
学校インターネット回線の
増強整備が実施された。今
後も、学校関係者の意見を
ヒアリングしながら定期的
に通信環境の見直しを行っ
ていくことが大切であると
考える。所見を伺う。

教育部長 整備後、通信状
況は安定しており、学習活
動に支障は生じていない。
今後、必要に応じて改善等
図っていく。

議員 スクール・コミュニ
ティにおける学校と地域の
関係性を、どのように整理
し、認識しているか伺う。

教育長 スクール・コミュ
ニティは、学校や子どもた
ちを縁として始まるコミュ
ニティであり、その活動を
通じて学園を超え全市民的
広がっていくものと捉えて
いる。

議員 スクール・コミュニ
ティの創造において、学校
ごとの地域特性を考え配慮
するに当たり、教育委員会
と連携し、どのようなアプ
ローチ方法がよいと考えて
いるか市長の所見を伺う。

市長 学校側からはコミュ
ニティのほうに連携を図
り、住民協議会のほうでも
様々な市民団体との連携の
中で学校との連携も深めて
の構築を検討していく。

議員 複数のオンライン
会議用のアプリケーション
を使い、利用ニーズに応
えられるよう、最適な環境
の構築を検討していく。

教育部長 複数のオンライ
ン会議用のアプリケーション
を使い、利用ニーズに応
えられるよう、最適な環境
の構築を検討していく。

議員 新型コロナウイルス
感染症の拡大は、いまだに
収束の見える状況ではな
い。しかし、自分の周囲に
は感染者はいないと思っ
ている人がほとんどだ。これ

いく。その連携を強化して
いくことが、地域力向上に
つながると考える。

議員 学園カレンダーは学
校行事と地域行事の予定が
分かりやすくまとめられ、
地域と学校のつながりがよ
り一層良好に発展してい
くことが期待される。昨年度
から発行予算が市内全7つ
の学園に措置されたが、学
園ごとに規模が異なる。各
学園への予算措置の状況と
積算根拠について伺う。



令和山桜会
吉沼 徳人 議員

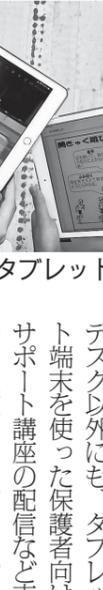
新型コロナウイルスに適切に対応し
市民の生活を守れ

議員 新型コロナウイルス
感染症の拡大は、いまだに
収束の見える状況ではな
い。しかし、自分の周囲に
は感染者はいないと思っ
ている人がほとんどだ。これ

は報道発表はもとより、行
政も市単位という大きな
くりでの発表が原因ではな
いかと考える。現在、市内
感染者は1千500人を超えて
いる。この数字を身近なも



いのちが大事
野村 羊子 議員



学習用タブレット端末



新しい時代に合った学校運営・
学園運営の推進を



令和山桜会
吉沼 徳人 議員